要介護認定有効期間の半数を超える短期入所サービスの取扱について

短期入所サービス（短期入所生活介護と短期入所療養介護）は、国の定めにより、原則として要介護（要支援）認定の有効期間のおおむね半分を超えてはならないことになっています。

志摩市では、要介護（要支援）認定の有効期間のおおむね半分を超える場合は「短期入所サービス利用事前承認申請書」を提出していただき、下記のとおり運用しますので、十分注意していただきますようお願いいたします。

下記の要件を全て満たす人で、心身の状況等を勘案して特に必要と認められる場合には、要介護認定等の有効期間の半数を超えて利用することを可能とします。

1 介護者がいない又は世帯員等が対象者を介護できない状況にあること。

居宅における日常生活の維持が困難な場合に承認するため、居宅に介護者がいない、又は介護者が入院等のため対象者を介護することができない場合等。

2 他の施設又は病院への入所又は入院が困難な状況にあること。

他の施設や病院への入所又は入院が可能な場合は、入所・入院を優先的に検討することとし、施設等の待機状況などの理由により、これらの施設等への入所・入院が困難であること。

事務の取り扱い

○半数超えが見込まれる月の前月中に、居宅（介護予防）サービス計画を立案した介護支援専門員と利用者の連名で、次に掲げる書類を市に届け出てください。

(1)短期入所サービス利用に係る届出書

(2)必要添付書類

○届出の内容を検討し、必要があるときは、担当介護支援専門員に対し、助言・指導を行います。

○不適切なサービス利用については、介護報酬の返還をしていただく場合があります。